

## と三郎山屋護名と 実真の国阿雲出

出を採る京の都、四條川原で出雲阿国が踊り、喝を受けていた頃、名護屋山三郎は蒲生家から去り、同じ四條付近で浪人をしていました。「槍の山三」を見ようと常に野次馬に囲まれ、疎ましく思っていた山三郎もまさか屋敷にずっと籠っていたわけではな  
いだろう。ときに「かぶき者」の姿で都を所在無く歩いていると、我も我も、老若男女が踊っている川原を覗きに行っても不思議ではない。



京都四條大橋に立つ  
出雲阿国の銅像